



パリで気づいたファッションにおける日本の重要性

パリで私が通うISC School of Management / Mod' Art International, Master of Luxury Businessには、ファッションを学ぶために多くの国からあらゆる年齢の人が来ており、多種多様なバックグラウンドを持つ人々との出会い・交流は私に多くの刺激を与えてくれるでしょう。日々おこなわれる授業の中で、日本について語られることは大変多く、ファッションにおける日本の重要性に気づきました。パリに来る前よりも日本を強く意識するようになったと同時に、それを伝える大切さを感じています。

一方で文化や生活の全く違う環境で暮らすことで、ファッションだけでなく自分がこれから厳しい世界で生き抜いていくための大きな力になっていると思っています。時間は限られていますが、できる限り多くのことを吸収し、成長していきたいです。

商学部4年 *Natsumi Kimura*



2004 卒
LUNEDI 社

Bonjour !

私は2004年に商学部を卒業し、その年の夏からパリにあるビジネス・スクール、IAE de Parisのフランス版MBAコースに入学しました。マーケティング、会計など、ケーススタディ形式の講義を13科目受講しました。なかでも商法はなかなか合格点が取れず、悪戦苦闘しました。フランス語の法律文に慣れるために、何度も法律書を読みかえし、レジュメを作成するという作業をしたのを覚えています。再々試験でですが、やっと合格できた時は達成感がありました。

また、このコースではインターンシップが義務付けられています。私はパリにあるデザイン事務所にアシスタントプロジェクトマネージャーとして契約を結びました。最終的には正社員になり、大企業のブランドマネージャーとFace To Faceにビジネスができる機会に恵まれました。「インターナショナルな環境で働きたい」という夢を少しずつ実現できている実感があります。今では大衆化された「留学」という言葉ですが、その内容は様々です。みなさん、海外で是非、マイストーリーをつくりあげていってください！

Yuki Kurihara

Tomoka Kodama

2006 卒

ロクシタンジャパン社



2005年9月から2006年2月までレンヌ商科大学に交換留学生として留学してきました。私の場合、当時学内においてフランスへの留学制度がまだ発展途上の時代でしたが、たまたま最終学年の年に短期留学制度ができ、第一号とし渡仏することとなりました。その時の不安と期待に胸膨らませていた事を今でも思い出します。

また、経済的なバックアップも必要でしたが、学内の奨学金制度を利用することで渡仏費用をまかないました。半年という短期ではありましたが、準備段階も含めて、学業だけではない、多くの事を学ぶことができました。

もちろん、留学中もとにかく学ぶことばかりで刺激的な毎日でした。今までであつたことのない文化、価値観との出会い、自分自身をじっくり見つめ直せたこと、どんな環境でも順応し生きていく術、大切な仲間…etc.

学の目的は人それぞれ

れだと思いますが、目的を明確にし、そこに邁進することが重要かと思えます。慣れ親しんだ環境で学ぶ以上にストレスはかかりますし、体力も必要です。ゆえに、目の前にことに忙殺され、あつと言う間に時間が過ぎてしまいます。ともすると、なにも得られず帰国に至るケースもみられました。ゆえに、目的はしっかりもって頑張ることが大切だと思います。そこで頑張った分、得るものも大きいということは、私だけでなく、留学経験のある友人達も確信しています。

On a étudié en France!!!

現在、フランスの化粧品会社で働いていますが、社会人になってからも、そこで得たネットワークや経験が生きています。



後悔することは何ひとつなかった

フランス語も英語もほとんど話せない状態でスタートしたフランス留学は、初めてのことでばかりで失敗の連続でした。時には自分は本当に成長しているのだろうかとか焦ったり悩んだりすることもありました。その一方で、いろんな国から来た留学生の友達と遊んだり、ヨーロッパの国を旅行したり、クリスマスには南フランスに住む友達の家族と過ごしたり…日本にはできない楽しい経験をたくさんしました。6ヶ月間という期間は英語とフランス語、2つの言語を習得するには短すぎました。しかし、半年間の留学期間を通して「好きな自分」「嫌いな自分」「弱い自分」「強い自分」などたくさんの「新しい自分」を発見することができました。また、家や学校、フランスの街中、旅行したヨーロッパの国々でたくさんの人や文化、価値観に出会うことができました。”就職活動を一度辞めてフランスに留学する”そんな思い切った判断をしてフランスに留学したことを本当によかったと思っています。そのくらい留学を通して学ぶことはたくさんあり、今の自分の自信となっています。

Kasumi Oe

2011年9月～2012年2月

★4年時に留学



♥ Bon appétit ♥

レンヌでの留学生活

レンヌはとても穏やかで生活しやすい街です。勉強をしっかりしたい人には最適な場所だと思います。また、観光地以外にもフランスは歩いて楽しむことができる素敵な建物や景色がたくさんあります。さらに、その他のヨーロッパの国々にも簡単に旅行することができるので、いろんな国を旅行してみたいという人にはフランスはとてもいい場所だと思います。机に向かって理論を学ぶだけが勉強ではなく、自分の体でいろいろなことを経験し、そして自分の頭で考えることが勉強だと私は思います。そして、留学はそのような経験ができる機会を手にする一つの手段だと思っています。

最後に

私にとって今回のフランス留学が自分にとって「世界への挑戦」という夢へのスタートラインになったように、これから留学する皆さんにとって、レンヌへの留学が新しい道へのスタートラインになってほしいと思います。

2011卒 フリーで活躍中!!

